

席書会・書き初め会 1月9日(木)

古くから日本に伝わる伝統文化である席書会を本年も行いました。例年に引き続き渡邊佐和子先生にお越しいただき、大筆で「泉」と書いていただきました。「臨川小学校の子どもたちがもつ力が勢いよく湧き出され、世の中へと溢れ出てほしい。」そんな願いを込めて選んでくださったそうです。体全体で力強く書かれていく文字を会場中が静かに見守りました。書き終えられた後は、子供たち、保護者の皆様から自然と拍手が起こりました。

その後、1・2年生は硬筆、3～6年生は毛筆での書き初めに取り組みました。低学年の児童は、姿勢や鉛筆の持ち方に気を付け、落ち着いた気持ちで美しい字を書くことができました。3年生以上は集中して書に向かい、筆の運びやとめ・はね・はらいなどに気を付け、一文字一文字丁寧に、真剣に書き上げていました。また、5・6年生、つくし学級の代表児童が、自分で選んだ一文字を大筆で書きました。緊張しながらも、勢いよく、思いっきり書く姿をみんなで見守りました。

今年度も多くの保護者の皆様に、朝早くから午後まで準備や作品掲示、片付け等をしていただきました。児童数増加に伴い、一人一人が書に真剣に向かえるように、昨年度と運営の仕方を変更しました。PTAの皆様には、臨機応変に、様々な場面でのお手伝いをいただきありがとうございました。また、新聞集めにもご協力いただきましたことを心より、感謝申し上げます。(文責:市川 勝利)



道徳授業地区公開講座 1月25日(土)

今年度は「自分を大切に 他的人也大切に」というテーマの下、道徳授業地区公開講座を実施いたしました。2・3時間目には、それぞれの学級で教材を活用し、自分自身を振り返ったり、自分のよさや周りの人との関わりについて考えたりしました。

また、4時間目には、前校長である土屋 康子先生から、全校児童に向けて講演をしていただきました。「キャベツの中から」「ころころたまご」という手遊び歌や、「くまのこうちようせんせい」「かぜのでんわ」の絵本に込められた意味や願いを聞いて、「自分と周りの人の命や思いを尊重して生きる」ことの大切さについて教えていただきました。

(文責:石川 裕依子)

